

高浜市議会だより

ぱいふる

衣浦東部広域連合**「令和6年度 衣浦港消防防災訓練」**

衣浦港中央ふ頭東2号・3号岸壁付近での訓練状況

人命救助の様子など、
写真からも気迫が感じ
られますね。

去る6月27日に、令和
6年度衣浦港消防防災
訓練が行われました。

contents
目次

- P2～P9……………4月・5月臨時会・6月定例会：議案の内容・議案審議、議員の態度（採決結果）
- P8～P13 ……市政のここが聞きたい（一般質問）、議会中継のご案内、個人情報保護制度の施行状況
- P14 ……各委員会委員等一覧、9月定例会のご案内（日程）、政務活動費、編集後記



議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、 反対意見や各議員の態度				会派名	市政クラブ				公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会	凛々会			
種類番号	件 名	議案等の主な内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論	議員氏名	橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈	長谷川広昌	福岡里香
4月臨時会 第2回（会期：4月10日・1日間） 議案等				結果	○＝賛成 ●＝反対													
議案第33号	高浜市税条例の一部改正について	地方税法の一部改正に伴い、個人市民税の定額減税を実施するとともに、土地に係る固定資産税の負担調整措置等を延長するほか、所要の規定の整備を行う。	問 給与所得者の特別徴収に対する定額減税の実施方法は。 答 令和6年6月分については、徴収しないこととし、定額減税後の年税額を令和6年7月分から令和7年5月分の11か月で等分した税額を徴収する。 問 合計所得金額及び控除対象配偶者の申告の有無に関係なく、同一生計配偶者は定額減税を受けられるか。 答 質疑のとおり。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	高浜市都市計画税条例の一部改正について	地方税法の一部改正に伴い、都市計画税の負担調整措置を延長するほか、所要の規定の整備を行う。	質疑なし。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分の報告について	吉浜幼稚園長寿命化改修工事に係る工事請負契約の変更。【変更後契約金額 2億4,892万3,400円(変更前から257万8,400円増額)】	報告事項のため、質疑なし。	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
5月臨時会 第3回（会期：5月22日・1日間） 議案等				結果	○＝同意、賛成 ●＝不同意、反対													
同意第3号	監査委員の選任について	現任長谷川広昌氏の辞職に伴い、その後任者として神谷直子氏を選任する。	問 長谷川広昌議員の辞職理由と、神谷直子議員の人格識見に優れというところはどのように判断したか。 答 長谷川議員は都合により辞職。神谷議員は議会での役職をたくさんされており、副議長をはじめ役職をきちんとこなされてきた。	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
議案第35号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第1回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,019万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ180億239万2,000円とする。	問 なぜこのタイミングで補正予算を計上したのか。 答 国の制度改革内容が明確となり、それらを踏まえた上で費用負担割合も併せ、費用の支払いの回数もある程度明確になったことから、今回の補正予算に計上。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会（会期：6月6日～6月28日・23日間） 議案等				結果	○＝賛成 ●＝反対													
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	人権擁護委員中川健二氏が令和6年9月30日で任期満了となるので、再度推薦する。	質疑なし。	異議のない旨答申	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	高浜市国民健康保険税条例の一部改正について	地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額等を改定する。	問 40代の夫婦で中学生、小学生の子供2人の計4人の世帯で総所得金額400万円の場合、年間保険料はいくらか。 答 国保税は55万9,600円。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正により、現行の被保険者証が令和6年12月2日以降発行されなくなることに伴い、愛知県後期高齢者医療広域連合規約を変更する。	問 有効期限切れのマイナ保険証では保険資格の確認ができなくなるが、資格情報のお知らせがマイナ保険証の代わりとして使えるか。 答 資格情報のお知らせだけでは、医療機関の受診等はいできない。 問 マイナ保険証を更新し忘れたり、紛失した場合は。 答 マイナ保険証を紛失した場合は、基本的に資格確認書を発行し、それに対応する。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第38号	高浜市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等に関する基準を定める条例の一部改正について	地域包括支援センターの職員に係る基準等について、省令によることとする。	問 高浜市における人員配置基準は現在満たしているのか。 答 配置は満たしている。 問 この条例変更によって、現在の職員配置と仕事の働き方に違いが出てくるのか。 答 本年4月1日現在、高齢者人口9,565人で保健師5人、社会福祉士その他これに準ずる者として2人、主任介護支援専門員2人を配置しており、国の基準は既に満たしており、特に業務に影響はない。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	高浜市使用料及び手数料条例の一部改正について	高浜市婦人の会の解散に伴い、同会による女性文化センターの継続的な利用に係る使用料の規定を削る等の改正を行う。	問 やきものの里かわら美術館・図書館の条例改正について、改正前と同額であるが積算根拠は。 答 今回、使用料に含まれていなかった光熱水費は改めて、実費という規定とした。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、 反対意見や各議員の態度				会派名	市政クラブ				公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会	凛々会			
種類番号	件名	議案等の主な内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論	議員氏名	橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈	長谷川広昌	福岡里香
6月定例会（会期：6月6日～6月28日・23日間） 議案等				結果	○＝賛成 ●＝反対													
議案第40号	高浜市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、本市の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準に関して、職員配置の最低基準を見直すほか、所要の規定の整備を行う。	問 一般の保育園配置基準がどうなっているのか。3歳未満児の配置基準についてどのように考えているか。 答 保育園及び認定こども園の配置基準について、愛知県の条例が改正対象で、高浜市の条例として改正する対象ではない。未満児の配置基準については、今回国のほうの改正がないため、改正の対象とはしていない。今後改正があれば併せて改正を行う予定。 問 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴って、特に議論もなく準用されたのか。 答 今回、国の基準が改正されたことに伴い、それに合わせた形で条例を改正。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	高浜市いじめ問題対策連絡協議会及び高浜市いじめ問題対策委員会条例の一部改正について	高浜市いじめ問題再調査委員会を設置する。	問 高浜市いじめ再調査委員会が追加しなければならないような事案があったため今回議案として出てきたのか。 答 再調査委員会についての記載がされていなかったため、今後の為に今回改正を行う。現在事案がある以上、次の段階に進む可能性がゼロではないことから、再調査委員会の設置を法的に担保するため、条例の改正を行う。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第42号	事業契約の変更について	高浜小学校等整備事業について、企業向けサービス価格指数の上昇による維持管理業務のサービスの対価の増に伴い、令和6年4月から令和16年3月までの事業期間分が996万8,720円の増額となるため事業契約を変更する。 【変更後】49億6,513万7,636円	問 維持管理業務を実施する上で必要となるその他関連業務について、具体的にどういったものか。 答 事業者の運営費、保険料、監査費用等。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第43号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第2回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億3,297万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ184億3,536万8,000円とする。 【主要・新規事業】定額減税補足給付金給付事業	問 定額減税補足給付金給付事業について、修正申告や更正の請求等によって税額が増減する場合の対応は。 答 修正申告により所得税及び住民税所得割が増額になった場合は、調整給付金が過大支給となるが返還を求めない。逆に更正の請求等により、税額が減額となった場合は、追加で令和7年度に調整給付金を支給する。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第3回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億2,851万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ186億6,388万2,000円とする。 【主要・新規事業】みんなでまちづくり事業（協力者謝礼、消耗品、機器使用料）、ICT推進事業（公共施設予約システム構築業務委託料等）、地域共生型居場所づくり推進事業、価格高騰重点支援給付金支給事業、価格高騰重点支援給付金（低所得者の子育て給付）支給事業、予防接種事業（新型コロナ予防接種）	問 4款2項1目廃棄物処理事業について、稗田町地内の不燃物搬入場及び分別収集特別拠点の借地料が約320万円から480万円に変更されているが、来年度以降も同程度になるのか。 答 相続人と今後協議していく。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第45号	令和6年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ861万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ37億6,773万9,000円とする。	問 システム改修の内容は。 答 資格確認書の発行対応やマイナンバーカードと健康保険証のひもづけ確認、高齢受給者証の一部負担割合の確認等の実施。 問 一般財源となっているが、補助金の対象等は。 答 国・県から通知がきていないので、承知していない。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	損害賠償額の決定及び和解について	高浜エコハウス駐車場における車両損傷事故に関し、損害賠償の額を決定し、和解するため。	問 体調が悪くても無理して公用車に乗ってしまう場合もある。基準を決めてチェックをしっかりとっておこなった上で公用車に乗車すべきではないか。 答 本人から健康状態を申し出ていただくように、職場の環境づくりに努めていく。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和6年度高浜市一般会計補正予算（第4回）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ385,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ186億6,426万7,000円とする。	問 改修工事の前にアスベスト調査を実施しなければならないということだが、なぜ追加で出てきたのか。もう少し早くできなかったのか。 答 今回の補正予算でアスベストの調査をすることにより、今年度の公共施設推進プランに基づく老人ふれあいの家改修工事を挽回できる。遅くなった理由は、建物の解体、改修工事を行う場合におけるアスベスト事前調査義務化の法令改正内容を失念していたため。 問 こういったミスを防ぐためには、どのような対策をしていくのか。 答 今後は、業者から見積徴収して予算計上する前に、内部の技師に相談し、このようなことがないようにする。	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、 反対意見や各議員の態度				会派名	市政クラブ				公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会	凛々会			
種類番号	件名	議案等の主な内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論	議員氏名	橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈	長谷川広昌	福岡里香
6月定例会（会期：6月6日～6月28日・23日間） 議案等				結果	○＝採択 ●＝不採択													
報告第5号	権利放棄の報告について	水道料金165件、60万9,319円の不納欠損。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項														
報告第6号	繰越明許費繰越計算書（一般会計）	令和5年度高浜市一般会計予算において、会計年度任用職員管理事業をはじめ19事業、16億3,453万7,000円を繰り越した。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項														
報告第7号	令和5年度高浜市水道事業会計予算の繰越しについて	令和5年度高浜市水道事業会計予算において、建設改良費（水道施設近代化事業費）予算の内、8,293万3,600円を繰り越した。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項														
報告第8号	令和5年度高浜市下水道事業会計予算の繰越しについて	令和5年度高浜市下水道事業会計予算において、建設改良費（管路建設改良費）予算の内、3,313万8,000円を繰り越した。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項														
報告第9号	令和5年度高浜市土地開発公社の経営状況について	「市道港線歩道設置事業（田戸町交差点工区）用地」及び「市道港線歩道設置事業（田戸町交差点南工区）用地」の用地取得に係る費用のうち、2,291 万 6,794 円を支出した。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項														
報告第10号	令和5年度高浜市総合サービス株式会社 の経営状況について	市から受託した33業務と市以外から14業務を受託した。売上高は、前年度より約8.0％減の約5億3,560万円となった。従業員は、正規社員62人・臨時社員197人でそれぞれの各種業務の遂行に当たっている。	報告事項のため、質疑なし。	報告事項														
陳情第1号	最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、 中小企業支援の拡充と公正取引を 求める意見書の提出を求める陳情	①最低賃金法を改正し、全国一律最低賃金制度を実現すること。②最低賃金を時給1,500円以上に引き上げること。③最低賃金の引き上げのために、中小企業支援策を抜本的に拡充し、公正取引を保障すること。 以上3点の実現を求める意見書を国に提出することを求める。	反対 最低賃金を時給 1,500 円以上に引き上げることとあるが、多くの中小企業は実現することが厳しいと考えるので本陳情には反対。 賛成 このまま東京と地方の格差が続けば、労働力はさらに地方を離れ、ますます東京へと移動し、地方の衰退が引き起こされるため、本陳情は賛成。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●
陳情第2号	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	①「公共サービス基本法」第11条を確実に履行できるよう、同法第4条に規定された国の責務を早期かつ十全に果たすこと。②公契約事業従事者の、適正な賃金・労働条件と雇用の安定・継続を保障する「公契約法」を早期に制定すること。 以上2点の実現を求める意見書を国に提出することを求める。	反対 本市においては、令和5年4月1日から高浜市公契約条例が施行されており、公共サービス基本法の基本理念に則り、同第5条地方公共団体の責務を果たしている。 賛成 国の責務を早期かつ十分に果たすことを求め、さらに公契約事業従事者を官製ワーキングプアに陥れることを防ぐ公契約法制定を求める陳情である。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●
陳情第3号	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	①住民のいのちと暮らし、安全・安心をまもるために、「行政機関の職員の定員に関する法律（総定員法）」を廃止するとともに、「国の行政機関の機構・定員管理に関する方針（定員合理化計画）」を撤回すること。②全国一律の行政サービスを提供するうえで、国の出先機関が必要不可欠であることをふまえ、廃止・縮小・委譲などを実施しないこと。③憲法で定められた国の責任を放棄して、地方自治体に国の役割を丸投げする道州制を導入しないこと。 以上3点の実現を求める意見書を国に提出することを求める。	反対 国の方針はＩＣＴの活用など行政の業務改革を推進しつつ、人員の再配置などを進めるものであり、サービスの低下を招くものではなく、住民の安全・安心を支えるものとする。 反対 道州制は都道府県に代わって、より広域の単位で新たな地方自治体を設置し、国から広範な権限と財源を移管する制度を考えているもので、国の役割を丸投げするものではない。 賛成 住民の命と暮らしを守るため、住民へのサービス拡充に努めていくためにも、国の出先機関の予算、人員体制の強化は必要。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●
陳情第4号	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	①憲法に基づくナショナルミニマムを保障し、住民が全国のどこに住んでいても健康で文化的な生活が営めるよう地方自治と地方財政を拡充すること。②地方自治体間の財源格差は、水平的な財政調整で是正するのではなく、地方交付税や国庫補助金の拡充など、国の責任と負担による垂直的な財政調整で是正すること。③地方交付税は、法定率を抜本的に引き上げ、地方自治体の財源保障・財源調整機能をあわせもつ制度として充実させること。そのほか4点。以上7点の実現を求める意見書を国に提出することを求める。	反対 本陳情には、大規模な災害からの復旧・復興にかかる財源は地方自治体に負担させず、全額を国が負担することとあるが、全て負担するのは無理なことと考えるため反対。 反対 このような提言書は地方六団体などが提出するものであり、一地方議会から提出することはなじまないと考えるため反対。 賛成 能登半島地震やコロナ禍によって公務公共サービスの重要性が浮き彫りにされたが、コスト削減を強調して進められた行革や合理化により地方自治体の財政は逼迫しており、住民の命と暮らしを守るために地方自治と地方財政の拡充を求める本陳情には賛成。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●
陳情第5号	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	①世界基準の保育環境実現のため、国の定める保育士配置基準をさらに改善すること。②保育士の賃金水準の抜本的な引き上げなど、さらなる処遇の改善を図ること。③両立支援のため、子の看護等休暇を有給で取得できるよう財政措置を行うこと。 以上3点の実現を求める意見書を国に提出することを求める。	反対 徐々にではあるが保育士の給料も上がっていることを考えると、この労働環境を改善するだけではなく保育士の賃金水準の抜本的な引き上げなどは進められている。 反対 賃金水準の引き上げだけではなく、労働環境を整えることも考えていかなければならず、本陳情にはその方策は触れられていない。 賛成 抜本的な保育士配置基準の改善とさらなる処遇改善は必要。	不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、 反対意見や各議員の態度																			会派名	市政クラブ					公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	清風会	凛々会					
種類番号	件名	議案等の主な内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論																議員氏名	橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	杉浦康憲	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈	長谷川広昌	福岡里香			
6月定例会（会期：6月6日～6月28日・23日間） 議案等																			結果	○＝採択 ●＝不採択																
陳情第6号	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情	①介護・障害施設の夜勤体制は、常時複数配置であることを基準とし、それが実現できる報酬単価に引き上げること。②夜間労働の実態を把握するため、夜勤の実態調査を行うこと。以上2点の実現を求める意見書を国に提出することを求める。	反対 夜勤者の複数配置を実現させるためには、現状、介護職場での人材確保が逼迫する中で対応することは厳しいと考えるため反対。 賛成 1人夜勤をなくすのは事業所の努力では難しく、制度を変える必要があるため賛成。																不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●			
陳情第7号	「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情	①「1年単位の変形労働時間制」を導入するための条例制定を行わないこと。②教職員の長時間過密労働を解消するための施策を緊急に講じること。③教員の未配置を愛知県教育委員会の責任で無くすこと。以上3点の実現を求める意見書を県に提出することを求める。	反対 1年単位の変形労働時間制の導入が一層の長時間労働をもたらし、教職員の命と健康を脅かす大問題になるとあるが、理解できない。 賛成 教職員の増員、業務の縮小、少人数学級などを実現することは必要で、それが教職に対する魅力向上、教員不足の解消、そしてゆとりある教育へとつながっていく。																不採択	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●			

杉浦康憲議員は、議長職のため表決権はありません。

高浜市議会個人情報保護制度の施行状況について

令和5年4月1日より高浜市議会が保有する個人情報については、「高浜市議会の個人情報の保護に関する条例」に基づき運用しています。
詳しくは高浜市議会公式ホームページをご覧ください。「トップページ」→「高浜市議会」→「個人情報保護制度」
URL <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/26861.html>



詳しい内容は、市公式ホームページに「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

市公式
ホームページ

「トップページ」→「高浜市議会」→会議録「定例会」「臨時会」「委員会」「特別委員会」
URL <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/list15.html>
(※ご覧になりたい「会議録」を選んでください。)



市政の ここが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をただすものです。
(高浜市議会会議規則 第61条 議員は、市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる。)

なお、掲載文は、議員本人作成（文責）の原稿です。



野々山 啓 議員

消防団の状況と充実強化

問 令和6年度の消防団員の人数、年齢構成について。
答 基本団員の定員は114人。令和6年4月1日現在は71人。年齢構成としては、20歳代が29人40.8%、30歳代が30人42.3%、40歳代が9人12.7%、50歳以上3人4.2%。

問 年間行事について。
答 「入退団式」「観閲式」「出初式」や「総合防災訓練」以外に、火災等の災害に備えた機関訓練、樋門等操作訓練、人命救助に係る普通救命講習の受講や防災講演会への参加など。

問 「観閲式」9月頃の開催について、消防団員やご来賓の熱中症対策等含め、開催時期の変更をご検討いただきたい。
答 消防団や消防署との調整、近隣市の開催時期の動向などの調査を行ってまいりたい。

問 「公務災害」などの、消防活動での事故防止策の実施について。

答 安全管理の教養講習会を開催し、公務災害事例及びヒヤリハット事例の紹介や、事故を未然に防ぐための能力向上を目的とした、消防団危険予知トレーニングを実施。また、刈谷自動車学校で、消防車走行訓練も実施。

問 消防車両と「普通自動車免許」の関係と、今後の対応について。
答 平成29年3月12日に道路交通法の一部が改正され、「普通自動車免許」により消防ポンプ車両を運転できない者は12人在籍。消防団で所有する消防ポンプ車両を更新する機会にあわせ、「普通自動車免許」でも運転可能な軽量の消防ポンプ車両を活用する方向で検討。

問 各分団詰所の改修予定時期について。
答 令和6年度高浜市公共施設総合管理計画をもとに、第1分団詰所が令和14年度、第2分団詰所が令和19年度、第3分団詰所は令和17年度、第4分団詰所が令和21年度に大規模改修を行う計画。

問 消防団のIT化について。
答 消防活動支援システムアプリを導入、試験運用をしている近隣市などから積極的な情報収集を行い、ペーパーレスを含めた消防団のIT化に向けて検討したい。



黒川 美克 議員

旧高浜市立病院について

問 市民の方より旧市立病院を介護施設等として借用したいと高浜市に申し入れたという話を聞きましたが、そういう事実があったのか。

答 申し入れというか、ご相談は過去にはございました。

問 その相談というのは、こういった内容ですか。

答 中身については、相手方のこともあり、答弁を差し控えますが、今言われたような施設を、この病院で展開をしたいという内容でした。

高浜市やきものの里 かわら美術館・図書館について

問 バリアフリー法に適合するための工事ということで、工事については全て完了しており、工事完了届も既に愛知県に提出済みですとの答弁でしたが、図書館用途変更で建築基準法で規定のある完了届の申請年月日は。

答 工事の完了届は令和6年2月1日に愛知県西三河建設事務所へ提出して、受理をされてい

ます。なお、用途変更の場合は、建築基準法の規定では検査の申請ということではなく工事完了届を提出するということになっています。

問 用途変更確認申請の検査済証はありますか。

答 制度として検査が行われるということではないので、検査済証也没有ありません。

問 バリアフリー法適合証の交付はありますか。

答 バリアフリー法とか建築基準法の中では適合証というような制度はありません。用途変更に関してバリアフリー法に適合するようにということで各種工事を行って、工事完了後に工事完了届を出したということです。バリアフリー法には適合しているという状態です。

問 バリアフリー法に適合しているというのは、どこで確認されましたか。

答 バリアフリー法に適合するようにということでそもそも建築確認申請を出していると。その後、県からの御助言とかもいただきながら、法に対応するように昨年度工事を行って、完了届を出していますので、県から問合せ等ございましたが、特段何の指摘もないというところですので、バリアフリー法には適合した状態ということです。



柴口 征寛 議員

子育て支援の充実について

問 子ども医療費助成制度について、入院で18歳年度末まで無料化を実施していない県内自治体は高浜市だけとなる。

入院費だけでも、18歳年度末まで無料化しないか。

答 令和5年4月に、こども家庭庁が発足したことにより、子育てしやすい社会の実現に向けた施策を期待し、国の動向を注視したい。

問 給食費無償化ができないのであれば、給食費の一部負担だけでも検討できないか。

答 現段階で学校給食費に対する市独自の負担軽減策というものは持ち合わせていない。

小中学校の環境改善について

問 学校毎の洋便器率は。

答 令和6年の4月1日時点で、高浜小：100%、吉浜小：56.4%、高取小：91.8%、港小：29.8%、翼小：32.2%、高浜中：65.4%、南

中：60.4%。

問 学校毎の洋式トイレ化完了時期は。

答 吉浜小：令和7年度、高取小：令和13年度、港小：令和9年度、高浜中：令和12年度、南中：令和13年度。

翼小については、今後検討。

問 生理用品を必要とするときに保健室へ行って、養護教員と話をしなければならないことは、児童・生徒にとってはかなり精神的負担となる。また、突然必要となり、保健室まで取りに行くことができない場合もある。トイレットペーパーと同様に生理用品がトイレにあり、気軽にそれを手にして使えるようになる、これでどれだけ子供が助かるか。トイレ内、できれば個室に設置することは必要ではないか。

答 現在の利用状況から、設置の考えはない。

自衛官募集事務に係る対象者情報の提供について

問 除外申出制度の周知について、広報紙への掲載についての考えは。

答 ホームページやLINEのデジタル手法による周知に限定したが、来年度以降は広報紙への掲載も予定している。



岡田 公作 議員

防犯行政について

問 令和5年の本市における『刑法犯』の発生件数と前年との比較は。

答 323件で前年比104件の増加。

問 令和5年の『侵入盗』の発生件数と前年との比較は。

答 20件で前年比9件の増加。

問 『侵入盗』の小学校区別発生件数と前年との比較は。

答 高浜学区9件(前年比+8件)、吉浜学区7件(前年比+3件)、高取学区2件(前年比+1件)、港学区1件(前年比-3件)、翼学区1件(前年比±0件)。

問 防犯意識の向上を補完する取り組みとして、防犯用具購入費を補助する制度があるが、高浜市での補助制度導入の考えは。

答 引き続き、啓発活動に努めるとともに、侵入盗の手口や近隣市の対策、愛知県の補助制度などの情報を収集しながら、効果的な補助制度

の導入等について研究を行う。

問 令和5年に最も多かった犯罪と件数及び前年比較は。

答 「自転車盗」で87件(前年比+39件)なお、「自転車盗」の87件のうち、無施錠のものが69件で79%、施錠ありが18件で21%。

問 令和5年の『特殊詐欺』の発生件数と前年との比較は。

答 1件で前年比1件の増加。

問 『特殊詐欺』の被害額は。

答 約250万円。

問 『特殊詐欺』の前兆電話を含めた、主な手口は。

答 高齢者宅を直接訪問し、通帳や印鑑、キャッシュカードや暗証番号などを聞き出す「預貯金詐欺」や「キャッシュカード詐欺」が主流。

問 近隣市では、特殊詐欺対策装置の販売及び購入費補助制度があるが、高浜市での補助制度導入の考えは。

答 特殊詐欺対策装置等については、一定の効果があると認識をしている。啓発活動とあわせてより効果的な対策ができるよう、引き続き研究を行う。



神谷 直子 議員

しあわせを未来に繋ぐ 高浜市について フードドライブについて

問 はじめてできた高浜市環境計画とは。

答 地球温暖化、海洋汚染、食品ロス問題など環境が大きく変わり必要となり環境計画の基本。

問 フードドライブ(家庭からの食品寄付)は何回開催し、どんな物がいくつ集まったのか。

答 令和4年度2回、令和5年度4回、今年度は、4月に1回。インスタント食品、お菓子、飲料など。令和5年度は2,966点集まった。

問 フードドライブは定期的開催するのか。

答 四季ごとに開催で年4回、参加団体の増加も図り効果的な方法を模索し、継続実施。

こども食堂について

問 本市には子ども食堂が何ヶ所あるか。

答 現在4か所。

問 課題や問題は。

答 スタッフ不足、資金、資源などの課題があ

るが、情報交換や困りごとを話合う仕組みを作り、市としては、フードドライブを通して食材確保や情報提供など裏方として支える。

問 子ども食堂の今後は。

答 名前は「こども食堂」だが、地域共生のまちづくりで、世代や属性を超えて交流できる居場所を確保していきたい。

認知症対策について

問 認知症サポーターの数は。

答 11,544人で、高浜市人口の23.5%。愛知県下38市中、第3位となっている。

問 認知症サポーターの講師である、認知症キャラバンメイトの数と役割は。

答 キャラバンメイトは、53人、6グループ。認知症対策の啓発活動をする。市内小学3年生全員と、一部の小学6年生と保護者、事業所などに、認知症サポーター養成講座を実施。サポーター905人を養成した。

問 健康自生地やホコタッチの効果は。

答 平成27年度の受診4,094人のうち、2,775人を5年後に認知症発症状況を追跡調査。健康自生地の参加者とホコタッチの利用者は、認知症発生リスクが40%以上低下。効果があつた。



福岡 里香 議員

再生可能エネルギー・ 太陽光発電について

問 災害時の太陽光パネルの安全性と建物への影響は。

答 太陽光パネルは地震で損害し、日光が当たると発電、接触による感電や漏電による火災、津波や大雨等

で、感電する可能性あり。

問 太陽光パネルを設置した建物火災発生時、放水時に感電の危険性あり。消火活動の対策は。

答 事業所は、火災関係者に電路の遮断を依頼。個人宅は、電路遮断が難しい為、絶縁ゴム手袋などを使用し、安全な距離を取り、噴霧注水で放水。

問 太陽光発電設備等の導入を進めることで、瓦のまちの景観破壊につながると考えるが、どのように考えているか。

答 三州瓦の振興及び太陽光発電設備の推進について愛知県陶器瓦工業組合と相談・推進中。

第9期介護保険事業計画について



荒川 義孝 議員

オープンデータとシビック テックによる新たな官民協働 スタイルの確立について

問 本市におけるデータを活用したまちづくりの目指すべき方向性は。

答 各施策に対するエビデンスの強化や新たな課題・取組の創出、将来的な地域課題の自発的な解消、住民

の利便性向上、地域経済の活性化。

問 私の一般質問において提案したDX推進体制の確立や、外部人材の登用についての成果は。

答 高浜市DX推進本部を設置し、専門的知見を有する「DX推進アドバイザー」を設置の予定。

問 データとのかけ合わせによるまちづくりにより、課題解決が可能であるが期待する効果は。

答 DX推進とデータ活用は関連が深く、かけ合わせることで得られる効果が増大すると考える。

問 オープンデータの取り組み及び推進状況は。

答 平成29年度に開始し、令和4年度から地域カルテを冊子でなく、オープンデータ化して追加公開。HPでは「町別人口」他22項目を公開。

問 介護ロボットや最新技術等で、職員の身体的負担は軽減するが、古い施設はハード面の問題で、介助量が増えている。現場の状況を確認し、施設関係者と改善できるよう提案等しているか。

答 ハード的な環境整備は、事業者が改善すべきと考える。活用できる補助金があれば、情報提供し、利便性の向上につなげる。

チャレンジスペースと瓦ひろばの有効活用について

問 チャレンジスペースが作られた目的と、設立当初の計画や意図は。

答 市の魅力や情報発信の場、憩いと交流の場。事業者は高浜市総合サービスに申し込めば今は使用可能。憩いの場としては誰でも使用可能。

問 「チャレンジサポートたかはま」が収穫した野菜をチャレンジスペースで販売した際、市役所職員が休憩中で販売しづらく、また市民に気づかれることが少ない為、瓦ひろばでの販売は可能か。

答 平日に物販等をするのは、総合サービス運営のチャレンジスペースでして欲しい。

問 せめて看板を瓦ひろばに置くことは可能か。

答 来庁の方の妨げにならないようなところで可能であれば、そこは前向きに検討していきたい。

問 ニーズなどオープンデータ化する課題は。

答 利用実態の把握と企業などの利用がカギ。

問 市民協働でのオープンデータの重要性は。

答 各取組みを説明する際にデータを用いることで信頼性が向上し、市民協働が推進する。

問 シビックテックの基本的な思想は、デジタルをはしごにして共に考え、共にづくり、多様な人が組織の垣根を越えて活躍し、助け合う仕組みをつくることにあるが認識及び考え方は。

答 シビックテックに関する意見交換を実施した。市民の利便性を享受するためにも重要である。

問 私が過去の一般質問で提案した「生成AIの導入」「電子回覧板」など実現したが、誰でもオープンデータを利用してアプリを作成し、地域支援や地域課題を解決する事例も多いが、シビックテックを活用する考えは。

答 チャレンジしたい方には協力していく。

問 コミュニティをエンパワーメントし、オープンデータを媒体とした市民参加型プラットフォームの構築、また、地域課題解決アイデア及びアプリ開発コンテストの実施を提案する。

答 オープンデータを活用し、市民等が主体的に取り組みやすい環境を整備していく。



倉田 利奈 議員

公共施設について

問 耐震の保証がない憩の家の利用者のご家族の方から、施設利用ができてしまうことで、高齢の親御さんが憩の家に行ってしまう困っているという声がある。南部ふれあいプラザと全世代楽習館は、耐震が

ないことが判明して、直ちに利用を中止したが、なぜほかの耐震がない公共施設は、利用し続けているのか。

答 高齢者の方々は、「そこまで考えてくれんでもいい」というようなご意見も出されている方もある。現在、耐震性のある施設を試験的に使っていており、今は併用というような形で活用していただいている。

問 豊田会が旧高浜分院を解体し、解体後高浜市に土地が返還される。解体時、近隣住民より騒音や振動の苦情があったことから、基礎となっている杭を抜かないと聞いた。今の技術では、振動や騒音をほとんど出すことなく杭を抜くこ

とはできるが、莫大な費用がかかる。杭を埋めたまま返された場合、土地の価値がほとんどなくなることから、杭は抜いてもらうべきであるとするが、市長の見解は。

答 更地にして返していただきたいということを豊田会に申し上げている。どうやってやるのか協議している。

廃棄物の処理について

問 高浜市総合サービスが市から委託され、産業廃棄物の収集運搬をおこなってきたが、高浜市総合サービスは、一般廃棄物および産業廃棄物の収集運搬の許可を持っているのか。

答 一般廃棄物や産業廃棄物の収集運搬に係る許可は持っていない。

問 立正寺南に置いてあった廃棄物を処理した業者は、一般廃棄物も産業廃棄物どちらも収集運搬の許可がなかったという認識であるが、市の見解は。

答 請負業者に確認したところ、許可の更新を失念しており、許可を有しない業者であった。

問 違法という認識でよろしいか。

答 そういった認識である。

議場に行かなくても「本会議」が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、ライブ配信や録画配信をご覧いただけます。

- ①ライブ配信で、本会議の視聴ができます。※告示日と各委員会等の配信はありません。
- ②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。
- ③録画配信は、ライブ配信後、概ね2週間後を予定しています。

市公式ホームページからも
リンクしています。

「トップページ」→「市の紹介」→「高浜市議会」→「議会映像配信」
(※ご覧になりたい「定例会」・「臨時会」を選んでください。)

■パソコン向け・スマートフォン向け映像配信アドレス

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/Webview/rd/council.html>



！
ご注意ください

※視聴は無料ですが、通信料などは視聴の皆様のご負担となります。
※動画配信のため、契約内容によっては、通信料が高額になる場合があります。視聴環境に係る契約内容をよく確認・納得の上で視聴願います。

各委員会委員等一覧表（令和6年5月22日現在）

議 長 杉 浦 康 憲	副 議 長 今 原 ゆかり	監査委員 神 谷 直 子
総務建設委員会 (7名)	橋 本 友 樹 ◎長谷川 広 昌 ○黒 川 美 克	荒 川 義 孝 北 川 広 人 今 原 ゆかり 柴 口 征 寛
福祉文教委員会 (7名)	神 谷 直 子 福 岡 里 香 倉 田 利 奈	杉 浦 康 憲 ○岡 田 公 作 野々山 啓 ◎鈴木 勝 彦
議会運営委員会 (5名)	○荒 川 義 孝 鈴 木 勝 彦	野々山 啓 柴 口 征 寛 ◎北 川 広 人
議 会 改 革 特 別 委 員 会 (12名)	橋 本 友 樹 野々山 啓 長谷川 広 昌 柴 口 征 寛	○荒 川 義 孝 福 岡 里 香 ◎北 川 広 人 倉 田 利 奈 神 谷 直 子 岡 田 公 作 鈴木 勝 彦 黒 川 美 克

◎委員長 ○副委員長 ※議席番号順

9 月 定 例 会 の 日 程 （ 予 定 ）

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。

月 日	曜	会 議 日 程	摘 要
8月26日	月	告示日	議会運営委員会
9月 3日	火	本会議 第1日 ライブ配信	開会、議案上程、説明
9月10日	火	本会議 第2日 ライブ配信	一般質問
9月11日	水	本会議 第3日 ライブ配信	一般質問
9月13日	金	本会議 第4日 ライブ配信	総括質疑、決算特別委員会設置、議案委員会付託
9月17日	火	決算特別委員会	委員長選出、現地調査等
9月18日	水	決算特別委員会	付託案件審査
9月19日	木	決算特別委員会	付託案件審査
9月25日	水	総務建設委員会	付託案件審査
9月26日	木	福祉文教委員会	付託案件審査
10月 3日	木	本会議 第5日 ライブ配信	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

※今後の協議により、変更となる場合があります。

政務活動費交付金の 会派別執行状況を 公開しています

高浜市議会では、政務活動費の適正な運用と使途の透明性を確保するため、会派別の収支状況を市のホームページに掲載しています。

URL <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/1995.html>



編集 後記

新しいメンバーで、広報・広聴委員会をスタートいたしました。令和5年度は、各まちづくり協議会の皆さまにご協力いただき、議会懇談会を開催することができました。参加された方と議員向けのアンケートを実施し、貴重なご意見を頂戴いたしましたので、今後の参考にさせていただきます。

また、議会のデジタル化を進めていく中で、『オンライン委員会あり方検討部会』を今年の3月に設置。オンライン委員会の運用については、大規模な災害等が発生したり、重大な感染症がまん延した場合でも、オンラインで委員会を開催できるように、また、議会に係る手続きのオンライン化に向けても議論していきます。

1年間よろしくお願いいたします。 広報・広聴委員会 委員長

